

## 2021年度 日本DM学会全国研究発表大会

会員各位

本学会は2002年に第1回全国研究発表大会を明治学院大学で開催して以来、毎年全国研究発表大会を開催してきました。東日本大震災の時には開催規模を縮小して開催し、昨年度はコロナ禍でオンライン開催といたしました。本年度もオンライン中心の開催を予定しておりますが、研究発表の場は学会の使命として維持していきたいと思っております。

本年3月末をもって、日本通信販売協会への事務局業務の委託が終了いたしました。会員サービスが十分ではないこともあろうかと思っておりますが、学会として新たな段階を迎え、全国研究発表大会も刷新して実施したいと思っております。オンライン開催は会員同士の対話という面では難しい面もありますが、人の移動の必要がないので、開催日程を長く設定し、興味深いテーマを深掘りすることができるという大きな利点があります。

今回の大会は学会設立20周年記念大会として盛大に開催しようと思っております。コロナ禍により、消費者の生活は一変し、また、事業者の行動も大きく変わりました。そのような中で、ダイレクトマーケティングは従来以上に重要性を増してきています。いままで電子商取引を使ったことのない人も使うようになり、使っていた人はさらに利用するという状況にあります。また、事業者もそれに対応するようにいろいろな商品、サービスを提供するようになってきています。この流れは単にコロナ禍の一時期のことではなく、大きな変化の流れは継続していくとおもわれます。

そこで、統一テーマは、「New Horizons for Direct Marketing— 社会変容で加速するダイレクトマーケティングの新たな挑戦」としました。すでに、20周年プロジェクトとして研究活動を行っていますが、現在の大きな柱である

「ポスト・デジタル時代の最先端マーケティング」

「顧客体験再構築を起点としたDX」

「経営管理視点でのダイレクトマーケティング」

「データサイエンスとダイレクトマーケティング」

のそれぞれについて、講演、研究報告、パネルディスカッションなどを企画しております。従来以上に刺激となる全国研究大会を目指しておりますので、各セッションへの参加をお願いいたします。

なお、今回は特定の大会校を設けないオンラインでの開催となりますので、常任理事会にて企画検討をし、会長が大会運営委員長を務めます。

第20回全国研究発表大会  
大会運営委員長（会長） 長島広太